

平成22年11月18日

『折尾・赤煉瓦アーチ高架橋』の保存活用を求める要望書

北九州市長 北橋健治殿

「歴史遺産『北九州市レトロ』を創る会」

代表 竹下 秀俊



紅葉の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当会は、北九州市の歴史遺産を活かした『北九州市レトロ』を創り、北九州市を、日本を代表する観光地にしようと活動をしています。

現在、折尾では、「6連・赤煉瓦アーチ高架橋」の解体が予定されています。

歴史遺産『北九州市レトロ』を創るためには、東の玄関口「門司港レトロ」のように、折尾の歴史遺産を保存活用することが重要だと考え、署名活動を実施しました。

861名の署名が集まりましたので、別添いたします。

「折尾・赤煉瓦アーチ高架橋」は、「社団法人土木学会」が、後記の理由で、『有形文化財に値し、「土木技術史の教科書的存在」であると同時に、「北九州市の近代化の歴史の記念碑的な構造物」と評するほど、素晴らしい価値があります。

- 1) 幻の工法の『ねじりまんぼ』は、日本最大級で、現在、作れる人は一人も居ない。
- 2) 通常のトンネルと『ねじりまんぼ』の交差は折尾のみである。
- 3) 大正期の長大な赤煉瓦アーチ橋は、東京駅と新橋間付近と折尾のみで、希少価値がある。取り壊すと、二度と復元できません。

是非、保存活用を検討していただきますようお願い申し上げます。

万が一、「西鉄電車ビル」隣接の『3連赤煉瓦高架橋』が解体されることがあった場合、下記のことを提案いたします。

壊した赤煉瓦を捨てずに保管し、将来「場所の記憶」として活かす。

- ・赤煉瓦高架橋の一部を、跡地などに作られる構造物などに活用する。
- ・以前に壊した3連を含め、6連がイメージできるものを、歩道などに活かす。

「折尾・赤煉瓦高架橋の存在・文化・歴史」を、紹介看板などで多くの方に知らせる。

「ねじりまんぼ」を含む3連の赤煉瓦アーチ高架橋は、解体せず、保存活用をする。

9連赤煉瓦高架橋の1/150の模型を製作する。

歴史遺産を活かした『北九州市レトロ』で、北九州市を活性化するためには、「折尾・赤煉瓦アーチ高架橋」の保存活用が必要です。どうかよろしくようお願い申し上げます。